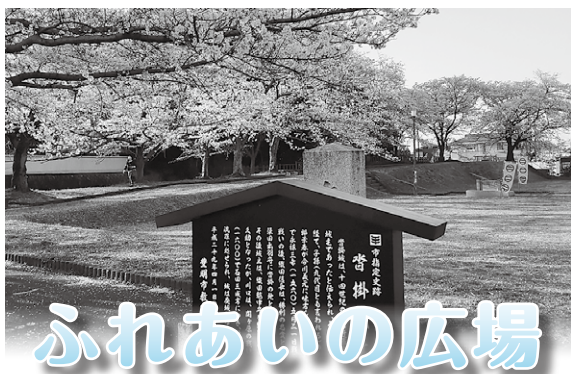




## 笠寺

### くっかけ 沓掛城址をたずねて



笠寺支部  
矢野 康治

晴れ渡る桜満開の頃、2023年より放送されているNHK大河ドラマ第62作『どうする家康』に影響された私は、久しぶりにわが街の史跡である沓掛城址を訪ねた。

この城は愛知県豊明市沓掛町にある平城で14世紀頃、初代城主近藤 宗光によって築城された。

歴史上では織田 信長が劇的な勝利をおさめた桶狭間の戦いにその名前が登場する。戦いの前日（1560年5月18日）に駿河・遠江・三河の兵約25,000人の大軍を率いた今川 義元は、池鯉鮒（知立）を出立して沓掛城に入城した。当時の城主は第9代目近藤 景春であった。ここで義元は軍評定を開き、大高城への兵糧入れや各武将の部署の再確認を行ったものと思われる。翌19日朝、義元は本隊を従え沓掛城を出発しその後、義元は大高道を通って桶狭間に入り運命の桶狭間の戦いに遭遇するのである。

また、この城址からは豊明市の発掘調査（1981年から1986年）によって陶磁器、木製品、金属製品など生活日用品が大半を占める製品が発見された。

旧豊明市立唐竹小学校の市共生交流プラザ「カラット」にある豊明市歴史民俗資料室に

は桶狭間の戦いに関連する資料と沓掛城址の上記の遺物も展示されている。

現在城址は1989年に保存整備され「沓掛城址公園」となり、本丸・二の丸・諏訪曲輪・内堀・侍屋敷の主要な遺構が残されている。また、隣接する正福寺（現住職第19代目近藤 靖氏）には築城当時に城郭内につくられた手掘りの堀跡が一部当時のまま残されている。また豊明市には他に歴史的な桶狭間の古戦場（隣接する緑区にもある）と、供養塔の戦人塚等もある。



今年2月には市政50周年記念事業として「とよあけ歴史文化検定」が開催され、個人的な話ではあるが、豊明市の歴史文化等を私自身改めて勉強し直して見事この検定に合格し認定証を頂くことができた。

先生方の中にもご存じの方が居るかも知れませんが、お城めぐりが趣味として有名な著名人、春風亭 昇太さんも訪れた沓掛城址に一度訪れてはいかがでしょうか。

## 大曽根

### 犬派から猫派



大曽根支部  
谷川 徹司

私は、大の犬派だった。

かつては、7頭のチワワと暮らしていて、猫はどちらかというと苦手だった。野良猫が

自宅の車庫に入ってきたら、「如何にして退治してやろうか!」というほどだった。

しかし、今はそれがひっくり返った。「猫なしでは生きられない!」というくらいに猫好きに変身だ。(笑)

ペットショップで犬を見ればもちろん可愛いと思うが、一緒に暮らすなら絶対に猫。なぜそうなったのか。

元々、息子が家を出てから猫を飼っているのを横目では見ていた。そんなある日、息子が来ているタイミングで自宅の車庫に野良の子猫が迷い込んだ。大捕り物の末、子猫を捕獲した。すごく可愛いキジトラ猫だった。しかし、下顎が<sup>えぐ</sup>抉れていてご飯が食べづらそうだった。

翌日、獣医へ連れて行くと簡単な手術で治療できるとのことだった。

数日後に麻酔下での手術を行った。しかし、子猫はその麻酔から覚めることはなく天に召されてしまった。

猫嫌いのはずの妻が悲しみに暮れ、見るに堪えがたく、娘が里親を募集している保護猫を探し出し、兄妹の黒猫が我が家にやってきた。そこからは怒涛の如く、保護猫がやってきて今や6頭の保護猫と暮らしている。



チワワの時もそうだったが、1頭1頭見事に性格が違うもので、新しい発見の毎日である。優しい子、いじめっ子、やんちゃな子、人懐っこい子、そうでない子、本当に人間と一緒に猫同士の関係も見えていて楽しい。多頭飼いというのは本当に面白い。

必ず誰かが私に寄り添ってくれる。寂しくない。猫は気まぐれだというが、たくさんいれば大丈夫。こっちがダメならあっちがあるさ! 状態で、欲する時に猫がいる。

世の中にはまだまだ保護を要する猫ちゃんがたくさんいるようだ。もし、ご縁があったらまずは1頭から、もしくは兄弟2頭から、一緒に暮らしてみませんか?

## 中村

### 昭和日常博物館



中村支部広報担当

半谷 和男

私が住む北名古屋市には「昭和日常博物館」とも呼ばれる歴史民俗資料館があり、昭和時代の生活用具や玩具などが展示され昭和の生活史を全国に発信しています。

北名古屋市では、平成5年「昭和時代」についての博物館・資料館がまだあまりない頃から「昭和の激動の変化を後世に伝える」をコンセプトに活動を開始し平成9年には「日常が博物館入りする時」と題した特別展でフロア全体を昭和30年代の資料で構成、それと同時にその場所が「昭和日常博物館」と呼ばれるようになったそうです。施設は北名古屋市図書館に併設された3階にあり、「常設展示」「特別展・企画展」から構成されます。

常設展示は昭和30年代の日常生活が再現されていて、「ちゃぶ台がある居間」や「農家の土間」があり、昭和41年生まれの私としては祖母の家に遊びに行って見たような情景がそこにはありました。





企画展では、5月は「おつかい・おかいもの展」が開催され、昭和30年代頃の買い物の情景を当時の買い物にまつわる様々なモノを通して振り返るというもので、量り売りでお菓子を売る駄菓子屋で使われていた道具、「マイバック」の元祖と言える「買い物かご」、チラシや家計簿の中の買い物にまつわる値段などが展示されていました。私が特に目を引き付けられたのは、駄菓子屋のアメやせんべいなどのお菓子が、本物かと思うほどの精巧さで、子供の頃「買って」と言って親を困らせたことが懐かしく思い出されました。



また北名古屋市ではこれらの展示だけではなくとどまらず、懐かしいと感じる資料を満載している特徴を活用し「回想法」という手法で福祉との連携も深めているそうです。

一度お時間を見つけて「昭和レトロの世界」へ足を運ばれてはいかがでしょうか。

## 鶴舞

### 私の名古屋シティマラソン戦記



鶴舞支部  
天野 敦之

3月12日（日）私は名古屋シティマラソンに出場し、スーパーマンのコスチュームを身にまとい走ってきました。

当日はウィメンズマラソンに参加する色とりどりの女性ランナーも含め、多くのランナーがバンテリンドーム ナゴヤを色鮮やかに彩っていました。

スタート地点に集まると、ますます選手の熱気も高まってきました。私もその中に混じり、緊張と期待に胸を膨らませながら、スタ

ートの合図を待ちました。そして、河村市長の名古屋弁のエールを受けスタートの号砲が鳴り響き、私たちは一斉に走り出しました。

スーパーマンの衣装を着ていると、自分自身もスーパーヒーローになったような感覚になり力がみなぎってきます。さらに沿道の方たちの大き



な声援や拍手が、私の背中を前へ前へと押してくれました。また、何人かのランナーたちは、私の衣装を見て話しかけてくれました。

私のスーパーマンの衣装は走りの妨げにならないように工夫をしています。衣装の大部分はスポーツメーカーの機能的ウェアを組み合わせ合わせて着用し、マントは風に舞い上がっても邪魔にならないように、ハンカチほどの大きさのものを使用しました。

名古屋の街を思う存分に疾走し、結果は自己記録の更新とはいかなかったのですが、日ごろの練習の成果は十分に発揮できたかと思います。今後もスーパーマンに扮して様々なマラソン大会に出場していきたいと思っています。

今年のマラソン当日は、最高気温が20度を超え、走っていてとても暑く感じました。実際にコース上で倒れてしまう方や、ゴール直後に足がつってしまい車いすで運ばれる方もいましたが、すぐに医療スタッフやボランティアの方々が対応されていました。すべてのランナーが安心して走るためには、医療スタッフやボランティアの方々の存在は欠かせません。皆様には心からの感謝を伝えたいと思います。

## 熱田

## ゆとりーとライン 人生初乗車



熱田支部広報担当  
山守 貴英

私事ではあるが、二十歳になった長男の就職が決まり、4月より守山区への配属となった。名古屋市西部の中川区在住の我が家にとって、同北東部に位置する守山区は疎遠の地であった。通勤方法は渋滞を考慮すると自家用車ということは考えにくく、栄駅経由の名鉄瀬戸線を利用するであろうと勝手に判断し、職場までのルートを下見に行かせたりもした。

4月3日（月）初出勤の日、疲れた顔をして帰宅した長男の鞆には、新規採用にあたっての大量の書類が入っていたが、その中の通勤届には予め『市営地下鉄名城線大曽根経由、ゆとりーとライン乗り継ぎ』と印刷されていた。聞けば最寄り駅からの所要時間はこちらの方が早く、上司らも利用しているそうである。



その『ゆとりーとライン』、名前だけは聞いたことがあったし、バンテリンドームナゴヤの通路から高架を臨むこともあったが、それが電車なのかモノレールなのかは気にもしていなかった。そこで、ゴールデンウィークに長男の勤務先探訪を兼ねて、ゆとりーとラインに初乗車することにした。

ゆとりーとラインは、名古屋市、名古屋鉄道株式会社、ジェイアール東海バス株式会社

などが出資する第三セクター会社である、名古屋ガイドウェイバス株式会社が運営し、運行自体は名古屋市交通局大森営業所が行っているとのこと。（ゆとりーとラインHP参照）

その特徴は、高架区間を走行する際は、ガイドレールの軌道を両前輪の前方と両後輪の後方に引き出した案内輪と呼ばれるガイドローラーでトレースしながら走行するガイドウェイバスであり、運転手はハンドル操作を行わず、シフトとアクセル、ブレーキの操作のみ



を行う。平面区間を走行する際は、全ての案内輪を格納し、通常のハンドル操作を行うことで普通のバスと

同様に一般道を走行するものである。この機構に興味を湧き、帰り道大曽根駅に到着した際に運転手に質問したところ、「高架区間走行中はハンドルを操作する行為は一切禁止されており、触れることすら許されない」とのことであった。

今回は高架区間の一部しか乗車していないが、いずれ全線乗ってみようと思う。

## 豊橋

## 日本マスタース柔道大会備忘録



豊橋支部  
諸山 和美

2004年12月2日（木）～4日（土）第1回日本マスタース柔道大会が静岡県浜北市で開催され、何となく“近くなので出場してみようか”がマスタース柔道大会参加の始まりでした。

第2回・第3回大会は欠場しましたが、50歳から東海東部チームの大將で10年連続出場し

た日整全国柔道大会が2006年10月に最後の大会となったため、日本マスターズ柔道大会を次の目標としました。

翌年、第4回姫路大会に出場し5試合を勝ち抜き初優勝、翌2008年6月にベルギーで開催された第10回世界マスターズ柔道大会に初参戦し、準決勝でドイツの選手に片襟指導・効果をとられ敗戦（3位決定戦で勝利し3位入賞）しましたが、この大会で色々な方々と知り合い貴重な体験となりました。そしてこの年、秋田大会で2連覇するも翌年大分県の選手に敗れ3連覇を阻止されました。

2017年和歌山県白浜大会では、個人戦と滋賀県の先生が監督を務める混合チームで団体戦のダブル優勝ができました。個人戦とは違い皆で勝ち取った団体戦の勝利は格別のもので記憶に残る大会となりました。

2018年愛媛県松山大会では、決勝戦で大阪府の選手に指導1で優勢負。またもや3連覇を阻止され涙を吞みました。

2019年福井県福井大会、その後コロナの流行で中止となり、3年ぶりに開催された2023年東京（講道館）大会で2連覇達成。来年1月

マスターズ柔道大会も実績を積み重ね、今では主催：国際柔道連盟（IJF）主管：全日本柔道連盟となり大会の名称も日本ベテランズ国際柔道大会・日本マスターズ柔道大会と併記されるようになりました。

「生涯柔道・生涯現役を実践し、健康と長寿の交歓」を目的に国内外の柔道愛好家が参加する大会です。身体の衰えを感じつつも全国各地の親しくなった選手に会えるのを楽しみにもう少し頑張っていきたいと思っています。



に予定されている（開催場所は今のところ未定）第18回大会で3連覇に3度目の挑戦を試みたいと思っています。ちなみに、戦績は14回出場し、金メダル8回・銀メダル4回・銅メダル1回・メダルなし1回です。

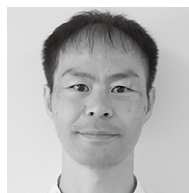
日本マスターズ柔道協会の発足当時は全日本柔道連盟との軋轢が色々あったようですが、





## 半田

### 半田市亀崎町の潮干祭



半田支部広報担当

西松 信明

半田市亀崎町で5月3日（水）・4日（木）に亀崎潮干祭が行われた。この祭りは「海浜曳き下ろし」が特徴です。新型コロナウイルスの影響で、ここ数年は祭りの中止や規模を縮小しての開催を余儀なくされていたが、今年は山車5輦を波打ち際に並べる最大の見せ場「海浜曳き下ろし」が復活し、4年ぶりの全面開催となった。



海浜曳き下ろしでは、男衆が繰り出す巧みな綱さばきが、訪れたおよそ3万人の観衆を魅了し、待望した見せ場の復活に盛大な拍手が上がった。

この亀崎の潮干祭は、<sup>かみさき</sup>神前神社の祭礼で歴史があり、祭神である神武天皇が東征の折に海から上陸したとの伝説にちなみ、5輦の山

車を潮干の浜へ曳き下ろしたことから、その名がつけられた。起源は定かではないが、17世紀末から18世紀前半頃までその歴史を遡ることができる。毎年5月3日・4日に開催される勇壮で華麗な祭礼は、平成18年（2006年）に国の重要無形民俗文化財に指定された。

今年は天候にも恵まれ、コロナ前のように非常に多くの観衆が集まり、「この光景を待ち望んでいた」と喜びの声も上がった。ただ、例年は通行止めとなった道路にたくさんの屋台が出て祭りを盛り立てるのだが、今年はその屋台がなく、その代わり所々の敷地にキッチンカーが出店していた。屋台を目当てで来ている方には少し物足りない感じもあるが、キッチンカーによる今どきのフードやスイーツが提供されていて、若い世代には大人気でどこも行列ができていた。

# 支部だより

## 一宮

### 一宮支部新年意見交換会



一宮支部広報担当  
櫻木 哲也

1月8日（日）一宮駅iビル7階シビックホールにて支部会員70名（112名中）が新型コロナウイルス第8波の真っ只中、最善の感染対策（検温、抗原検査、消毒）を参加者全員に施し、各首長、代議士及び関係者等来賓15名をお招きし、加藤 洋平会員、野崎 裕之会員による司会で3年ぶりに開催された。

愛整会からは森川 伸治会長が公務のため藤川 和秀副会長にご出席いただき、保険説明会（不支給問題等、保険者からの返礼書類に関する適切なアドバイス）をしていただき、中野 一弥支部長の開会の挨拶の後、日頃我々柔道整復師がお世話になっている衆議院議員愛知10区選出の江崎 鐵磨氏をはじめ、同愛知9区選出の長坂 康正氏、愛知県選出の参議院議員 藤川 政人氏、及び代議士、各首長、医療関係者来賓より心温まる祝辞、叱咤激励を賜り、愛知県議会議員村瀬 正臣氏による乾杯の音頭で厳かに始まった。

今回、長年にわたり一宮支部はもとより愛知県柔道整復師会を牽引された、石田 健太郎会員のご勇退にさいして支部長より感謝の意を込め花束、感謝状を贈呈し、後輩会員に対して熱きメッセージを頂いた。



業界の厳しい状況に会員の気分は沈みがちではあったが、意見交換会が始まりアルコールが回り始めると、会場は活気に満ち溢れ、普段のストレスを発散させる舌合戦が始まった。

午後6時30分になり浅井 壽康会員、内田 栄治会員によるビンゴ大会が始まると、賞品の金券（クオカード）巡り、ボルテージは最高潮となり大いに盛り上がり、当選者は壇上に上がり記念撮影を行った。

中締めで、一宮市議会議員 鵜飼 和司氏の一丁締めの後、午後8時長年一宮支部及び愛知県柔道整復師協同組合で尽力され、今年度で勇退される神田 達樹会員による閉会の辞にて散会した。

### 一宮支部総会・研修会

4月27日（木）に「5月8日（月）より2類から5類へと変更」と決定すると発表がされる前であったが、新型コロナウイルスも収まりかけ、好天に恵まれた4月23日（日）午後2時一宮駅iビル2F大会議室にて総数106名中67名が参加し一宮支部・連盟総会・研修会が司会 山田 祥平会員、議長 木村 亨介会員にて開催された。

今回で勇退される中野 一弥支部長の挨拶に続き、事業報告及び決算報告を、各事業担



当者が説明発表し賛成多数にて可決された。その後の事業計画案、予算案も賛成多数にて可決され、任期満了による役員選挙も新支部長 三谷 誉会員の立候補を満一致で信任され新支部長が誕生し、各部8名の支部担当者も支部長の推薦により選出され、質問等もなく全ての議案が滞りなく通過した。

午後2時40分から連盟総会が始まり、全ての事業報告・決算報告、事業計画案・予算案の全ての議案が賛成多数にて可決された。

その後、新入会員 佐藤 美幸会員の入会挨拶、代表者による会葬御礼、5月21日（日）に開催される愛知県柔道整復師会総会での執行役員選挙の立候補者、監事候補 古賀 一会員、理事候補 中野 一弥会員の挨拶の後、午後3時20分より岡崎支部よりお招きした永田 和平会員より日本柔道整復師会が推奨する、「匠の技 伝承」プロジェクト「橈骨遠位端骨折整復固定を一人で行う」と題し、動画を用い詳しく解説され、転位がわずかな場合等の条件はあるものの、その技術には目に見張る匠の技を感じ、今後の施術の参考にさせていただきたいと思った。

午後3時55分より本会及び支部推薦の業者「日本トリム」社より水素水発生装置の説明会が開催され、会員の関心は高まったが、時間の都合上、質問は個別に行われ、午後4時25分散会となった。

## 岡崎

### 県民講座に参加して



岡崎支部広報担当  
樋渡 啓祐

3月5日（日）午前10時20分より、第34回機能訓練指導員実務研修会、第17回フォローアップ講習会、第17回県民公開講座が開催され、「フレイル・ロコモ予防のエビデンス」と題して、日本福祉大学 健康科学部 リハビリテ

ーション学科教授：白石 成明先生がご講演され、ウェビナー（Zoom）にて参加した。

フレイルとは、高齢期に生理的予備能力が低下することでストレスに対する脆弱性が亢進し、生活機能障害、要介護状態、死亡などの転帰に陥りやすい状態とされている。その多面性として身体的フレイル、精神的フレイル、社会的フレイルがある。

一方ロコモティブシンドロームとは、運動器の障害により移動能力が低下し要介護リスク上がるというもので、両方とも似たようなことを言っているが定義が様々なようである。（日本整形外科学会が提唱する日本独特の概念）

それはともかく、これから先の超高齢化社会に対しどう向き合っていくかということ、やはり「一人でも多くの高齢者にいつまでも元気でいてもらうか？」ということにつきるということであろう。そのためにはまず、これからフレイル状態になりそうな方々を見つけ出すことが大切である。その方法としてお薦めなのは、立ち上がりテスト、2ステップテスト、基本チェックリスト、CHSの5項目であった。

次にフレイルの方々が陥りやすいサイクルとして、栄養不足→筋量の減少→歩行低下→機能低下→エネルギー消費低下→栄養不足というサイクルがあった。確かに日ごろ接することの多い高齢者のお話を伺ってみると、このサイクルに陥っていることは多いと感じる。そしてこのサイクルをどうやって脱出するかということだが、ポイントとしては筋力を維持向上させることであった。具体的な方法としては、トレーニングの3原則（①特異性②過負荷③漸進性）を守りながら、なるべく大きい筋肉（下肢・体幹）を鍛えていくと良いということだった。

今回の講座に参加して感じたことは、日ごろの業務の中で身体の悩みをもった多くの高齢者に接する機会は非常に多く、今後その方々がフレイル状態となる可能性は非常に高いといえる。今はまだ通院できている状態であるから良いものの、これが骨折等の大きなけがによりフレイル状態とならないためには、定期的にフレイルチェックをおこないご自身



の状態を認識していただき、しっかりとした栄養を摂取して、適正な負荷をかけた状態で筋力トレーニングを継続的に行い、社会活動に参加できるようにアドバイスをすることが大切である。

まだまだ柔整師は超高齢化社会に対し貢献できることがたくさんあることや、これから自分たちが何をしなければならないのか考えさせられる良い機会となった。

## 笠寺

### 笠寺支部研修会



笠寺支部  
山下 貴司

3月26日（日）雨風に冷たさの残る折、会員の先生方にはお忙しい中出席していただき、愛整会館3Fホールにて笠寺支部総会・勉強会・親睦会が開催されました。

支部会員60名中出席者23名、委任状提出者36名と決して参加者が多いとは言えない中で、出席された先生方の協力を得て、総会が滞ることなくスムーズに進行できましたことをご報告させていただきます。

勉強会では笠寺支部長山口 敬史先生の計らいにより、弁護士法人心様からお二人の講師をお招きして交通事故への適切な対応方法やマーケティングポイントの講義をしていただきました。



いくつかのテーマごとに分けて説明を受けましたが、特に重要なポイントとしては施術費支給の不当な打ち切りを防ぎ、患者様に通院を続けてもらうために、知っておくべき保険会社への対応の一つの方法として、弁護士の先生方との協力関係を築き上げておく事も大切なことなのではと思いました。

その後、親睦会では平素から本会のためにご尽力いただいております自民党議員の先生方をお迎えし、4月9日（日）投開票の統一地方選挙に向けての激励会も兼ねて、短い時間ではありましたが、とても有意義な交流会となりました。

最後に新型コロナの感染症法上の位置づけとして、5月から2類相当から5類感染症に移行する事も決まっております。人の動きも盛んになってくると思います。今後はより一層の感染対策を図りつつ、会員の先生方にはお仕事にプライベートに活躍していただければと思います。

## 大曽根

### 大曽根支部・春日井、小牧地区 会員研修会・情報交換会



大曽根支部  
福永 由隆

1月22日（日）午後5時より「鈴松」春日井店にて、新型コロナウイルス感染対策を徹底しつつ、小林 弘治副会長のご同席を賜り13名の会員参加のもと、春日井地区・小牧地区合同で会員研修会・情報交換会が行なわれました。

今回の情報交換会の目的は、現在、春日井市との間で、介護保険（機能訓練）分野や防災協定等の話が活発に進んでおり、これらの情報を地区会員に向けて報告及び情報の周知・共有を図るものでありました。

春日井地区、小牧地区の現状報告の後、各



地区の理事より保険取り扱いについての現状や、注意点等についての話がありました。たいへん興味深く、為になる内容であり、それらの話を受けて活発な意見交換がなされました。

昨今は売上減少に悩める会員も少なくないと思いますが、こういった会員同士が膝をつき合わせることでできる機会に、お互いに情報を得ることはとても重要であると感じました。

約3時間の研修会・情報交換会となりましたが、たいへんに有意義な時間であったように思います。今後もこのような機会には、ひとりでも多くの会員に参加をしていただき、より活発な意見交換がなされることを期待します。

## 刈谷

### 刈谷支部通常総会



刈谷支部  
岡田 忠士

4月2日（日）午後4時から木曽路東刈谷店において、令和4年度刈谷支部通常総会が情報交換会を行わない形で開催され、32名が出席した。

開始前に石井 拓衆議院議員が、支部長の挨拶後に清水 としやす愛知県議会議員候補がお越しになり挨拶をされた。

星野 彰二支部事業担当者の開会の辞に続

いて竹内 健二支部長は挨拶にて、今年の公益社団法人愛知県柔道整復師会総会は、例年行われてきたナゴヤキャッスルがまだ建て替え工事中なこともあり、本会会館で行われることを述べ、理事の改選が有るため会員に総会への出席を呼び掛けた。出席できない場合は、必ず期日前投票をするように促した。また、岡田 新平会員がベトナム伝統医学医師の受け入れを行うことなどを報告した。

申請書類の審査について、申請用紙の様式が変わったことで、印字がずれている会員が多いので新旧の用紙が混ざっていないか注意することなどを求めた。



議事に入り、令和4年度事業報告、部会収支決算報告、会計報告が行われたのに続いて、令和4年度法人会計収支決算書、連盟会計収支決算書の報告と監査報告が行われ、全ての議題が挙手多数で承認された。さらに、令和5年度事業計画（案）も挙手多数で承認された。

その後、支部長の選挙が行われ、竹内 健二支部長が再任された。また、支部役員、各部員担当者（案）も承認された。

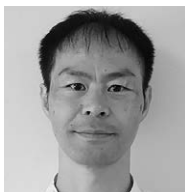
その後、9月3日（日）に安城市で行われる予定の愛知県防災訓練への参加を呼び掛けた。

最後に質疑応答が行われ、会員からの保険取扱いに関する質問などに答えた。

17時35分星野 彰二事業担当者の閉会の辞で終了し、各自用意された弁当をもらって家路についた。

## 半田

## 半田支部定時総会・懇話会を開催



半田支部広報担当  
西松 信明

3月18日（土）午後4時から半田支部の定時総会・懇話会が開催された。昨年度の総会は新型コロナウイルスの影響により役員のみ集まり、その他の会員はZoomでの参加となり、懇話会は見送るという形であった。

今年度は、支部長の選挙と支部担当者の承認が議題に上がっており、コロナも落ち着いてきたため、武豊町にある「料理旅館 川柵」において対面での半田支部の定時総会・懇話会を開催する運びとなり、支部会員79名中、当日出席者32名、委任状提出者30名、合計62名で総会は成立し開催された。

議題として事業報告、決算報告、監査報告、支部長選挙と支部担当者の承認、規約改正の件、市町代表承認の件、事業計画案、予算案について行われた。規約改正では、会員、運営制度や支部長の選出方法等について改正され、それ以外の議題については滞りなくスムーズに進行し、その他今後の選挙について解説していただき、無事総会が終了した。



総会後には例年通り来賓として5市5町の首長や議員をお呼びし懇話会が開かれた。都合によりお見えになられなかった首長もいたが、新しい方もお見えになられて、親睦を深めながらお互い意見交換をすることができた。



今回は明治創業の老舗料理旅館を会場とし、おいしい料理をいただきながら、久しぶりに開催された懇話会に来賓の方も会員も盛り上がりを見せ、脱コロナを願い終了した。



## 共済会だより



愛知県柔道接骨師会共済会 会長

藤川 和秀

会員の皆様には、共済会運営に関しまして多大なるご協力をいただき感謝申し上げます。

共済会の基本事業であります、弔慰金のお支払いに関しましては共済会発足以来、とどこおることなく残されたご遺族様にお渡しをいたしております。

また、本年度は5月より5類に分類されましたが、いまだ終息宣言が出されていないコロナ感染症に、罹患、濃厚接触者となり、一時的に休業された会員へのコロナ助成金として、3年の前倒しで¥20,000円を110名の先生に支給させていただきました。

共済会規程にもありますように、会員への福利厚生に寄与することが第一と考えており、今後も継続して、入院見舞金・災害時見舞金・休業助成金等、会員の皆様に対して協力を惜しまず実行していきます。

共済会は、先生方に何かあったときに備え

て、皆様より毎月定額掛け金¥3,000円を徴収させていただき日本生命と契約をし、弔慰金のお支払いをさせていただいております。ですが、法人の会員数の減少に伴い、掛け金収入が減少しております。

共済会が発足した、平成23年以来、掛け金の維持のために弔慰金額の減額を一度行いましたが、今は、弔慰金の支払い金額を減額することは考えておりません。

役員一同で運営方法を思考し、長く会員の皆様に還元できるようにと頑張っております。

現状の契約内容は、他の多くの保険会社のより厚遇されているものと自負しております。

また、新型コロナウイルス感染によって、この3年半私たちの日常業務に多大な影響を与えることとなり、他にも要因はありますが、大幅な収入の減少になりました。

まだまだ、減少に歯止めがかからない現状ですが、共済会の役員も新しく監事に石田真由美会員を迎えてスタートします。

苦しい時こそ、会員の皆様と共に協力し合って前に進んで行きたいと思っております。

今後とも、共済会運営に関しまして先生方のご協力をお願いするとともに、ご意見がありましたならば共済会までお知らせください。

## 介護ステーションだより



管理者

平岩 治郎

日ごろは愛柔整介護ステーションに対しご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症の位置づけは、

これまで、「新型インフルエンザ等感染症（いわゆる2類相当）」としていましたが、令和5年5月8日から「5類感染症」になりました。

高齢者が多く利用する介護の現場では、これまでもいろいろな対策が図られました。新たに運営基準上、すべての介護サービスについて、「感染症の予防及びまん延防止のための措置を実施すること」とされました。私たちの居宅介護支援事業所にも新たな運営規程等の整備が義務付けられました。令和3年4月1日から令和6年3月31日までの間は努力義務が課され、それ以降は必須項目となり、要件

を満たしていない事業所には指導・減額の対象となります。具体的には

- ① 委員会の開催（概ね6ヶ月に1回）、その結果の周知
- ② 指針の整備
- ③ 研修の定期的な実施
- ④ 訓練（シミュレーション）の実施

そして従業者の清潔の保持、健康状態の必要な管理をして従業者に周知徹底を図ることです。

また、すべての介護サービスについて、感

染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続的に提供できる体制を構築する観点から、業務継続に向けた計画等の策定や研修の実施などが義務付けられました。

このような運営規定を遵守して日々、愛柔整介護ステーションは業務を行っております。今後も先生方からのご紹介を頂戴したいと思っております。

何卒ご協力の程、お願いいたします。

## 協同組合



理事長  
手塚 幸一

組合員の先生方、日頃は大変お世話になっております、27期が無事に終了し5月26日協同組合総代会を開催し第3号議案まで上程し、慎重審議の末に全議案とも可決されました事を、ご報告させていただきます。

手数料等の収入は減少しましたが、コロナ感染症の為に組合事業中止と経費削減に努めたため、黒字決算となりまして、昨年度以上

の配当を組合員の先生方へ利用分量に応じて、お配りすることができます。

28期の今期は役員改選があり組合執行部全員は前期と同じ顔ぶれでのスタートとなります。チームワークは良好ですので、今の時代に合った組合改革にかじ取りをしていかなければなりません。

コロナ感染症も終息の兆しは見えてきておりますが、今後まだまだ予断を許さないのではとの情報もあり慎重な組合運営をしていく所存であります。

組合員の先生方、何かご要望がございましたら協同組合までご連絡くださいませ。今後とも協同組合ご利用宜しく願い申し上げます。

愛整広報84刊を無事発刊することができました。会員の皆様の、ご理解ご協力のおかげでございます。

広報部員を6年勤め、今回初めて広報部長として編集に携わることとなり、前広報部長の松田先生に御指導いただき、室谷 勉部員、山守 貴英新部員の協力を得て、編集作業を乗り切ることができました。

また、愛整広報は、多くの愛整会員の投稿によって成り立っています。また、各支部広報担当者の協力も欠かせません。この場を借りまして、お礼を申し上げます。

次号第85刊にも多くの投稿をよろしくお願いします。



岡田 忠士

ようやくコロナが落ち着き始めました。しかし既に第9波が懸念されています。ここ2ヶ月の間に自分の患者様もコロナで2人亡くなられました。afterコロナ、withコロナで動きだしてはいますがリスクは依然変わらないように思えます。そんな中、今年は早々と台風の影響が出て、この前の台風2号では豊橋、豊川で水害が発生したようです。自分も23年前に東海豪雨で床上1m浸水の被害に遭い、一週間の休業を余儀なくされました。今でもその光景は鮮明に思い出されます。被災した原稿も書いた記憶もあります。遭ってはならないことですが、被害者の気持ちはとてもよくわかります。

本会もコロナ禍の中で行事が再開し、会員の皆様からの記事が集まりだしたことは嬉しい限りであり、この84刊が発刊できたことは、愛整理事並びに会員の皆様のおかげと感謝しきりです。

5月の選挙にて新たに岡田部長と、山守部員をお迎えしての新広報部での発刊となります。よろしくお願いします。



室谷 勉

従来は支部広報担当として広報誌原稿を提出する立場でしたが、今刊からは先生方よりお寄せいただいた画像や原稿を編集する側となりました。元々文才のない所へ持ってきての不慣れな編集作業ですから、お手伝いどころか完全に足手纏い状態で終わってしまいました。次刊からは行事の写真撮影やレポート作成もあると聞き、刊行物発行の大変さを早々と肌で感じております。それでも、より良い物を作り上げようとする先輩方の姿勢を見習い、一日も早く広報部の仲間入りができたらと思います。



山守 貴英



## 第85刊の原稿募集

1. 内 容 論説、時評、文化、学術、短歌、俳句、ふれあい、支部だより等  
また、記事に関連する写真がありましたら添付してください。  
支部名・お名前を必ずお書きください。  
ご本人の顔写真は必ず添付してください。
2. 締切日 2023年11月20日(月)
3. 送り先 〒460-0022 名古屋市中区金山5丁目13番22号  
公益社団法人 愛知県柔道整復師会 広報部  
愛整広報メールアドレス：[kouhou@shadan-aisei.jp](mailto:kouhou@shadan-aisei.jp)

## 投稿についてお願い

1. 寄稿文の採否、および多少の字句の訂正は広報部にお任せください。
2. 引用文献は、必ず著者名、巻、頁、発行所を明らかにしてください。
3. 原稿は横書きに統一します。
4. 文章の題名、支部名、氏名は、4行使い、本文は5行目から書き始めてください。
5. 句点「。」読点「、」かっこ「（）」は、必ず全角文字を使ってください。
6. 書き始め、段落の始めは1字あけて書いてください。
7. 原稿は読み返して、推敲してください。
8. 医学用語は正しく書いてください。
9. **原稿・写真は、支部担当者へ提出してください。支部担当者が、必ず校正して提出してください。**  
**原則提出していただいた原稿・写真は返却しませんのでコピーを提出してください。**
10. 原稿(データ)は、原則として、Windows版またはMac版Microsoft WORDまたはEXCELで作成してください。原稿執筆者の顔写真を必ず提出してください。
11. 1枚の画像の容量は300KB程度とします。  
文書内に貼付けた画像は、元の画像ファイルも添付してください。  
ただし、表紙に使用する写真は2MB以上で、できるだけプリントしたもの(2L版以上)を添えて提出してください。
12. 投稿した原稿・写真等は、締切日より1ヵ月程度はご自身でも保管しておいてください。

---

発行日 令和5年7月31日

---

発行者 森川 伸治

---

編集者 岡田 忠士・室谷 勉・山守 貴英

---

印刷所 名古屋市東区古出来1-1-3 有限会社進栄社

---

TEL 052-722-1515・FAX 052-722-1517

---